

アクション	説明	実施主体		実施計画（H25～26は現時点でのイメージ（今後変更あり））			目指す姿	
		主たる実施機関	連携機関	H24	H25	H26		
<b>I 域内における新幹線開業機運の醸成</b>								
1	開業告知資材の掲出・配布	新幹線木古内駅の開業を告知するポスターやリーフレット等を、9町のできるだけ多くの場所で掲出、配布する。	木古内町	新幹線木古内駅活用推進協議会構成町	掲出・配布	掲出・配布	掲出・配布	○9町住民の間に新幹線木古内駅の開業が認知され、地域の活性化に向けた機運が醸成されている。
2	開業イベントの実施	9町の祭りやイベントなどで、新幹線木古内駅の開業をPRするブースを設置するとともに、開業前年にはプレイベントも開催する。	木古内町	新幹線木古内駅活用推進協議会構成町		9町の祭りなどでブース設置	9町の祭りなどでブース設置 開業前年イベントの開催 ※前年イベントは協議会主催	
3	その他	上記以外にも、新幹線木古内駅の開業機運醸成につながる取組を機動的に実施する。	木古内町	新幹線木古内駅活用推進協議会構成町		「はやぶさ03」による子ども向け啓発活動 など	未定	
<b>II 地域のイメージづくり</b>								
4	広域観光キャッチコピーの作成	新幹線木古内駅開業を機とした広域観光推進に当たってのキャッチコピーを作成する。	新幹線木古内駅活用推進協議会		キャッチコピーの作成			○キャッチコピーや展開ツールの活用により、魅力的で一体感のある観光地のイメージが醸成されている。
5	各種展開ツールの作成・活用	キャッチコピーを活用したポスターやステッカー等の展開ツールを作成し、域外、域内での活用を図る。	新幹線木古内駅活用推進協議会			展開ツールの作成・活用	展開ツールの作成・活用	
<b>III 戦略的な域外プロモーション活動の展開</b>								
6	広域組織と連携した効率的な域外プロモーションの実施	渡島総合振興局等の広域組織と連携した域外プロモーションを行い、9町の観光パンフ等を同封した「9町バック」を配布する。	新幹線木古内駅活用推進協議会	渡島総合振興局等の広域組織	域外プロモーションの実施 「9町バック」の配布	域外プロモーションの実施 「9町バック」の配布	域外プロモーションの実施 「9町バック」の配布	○関係機関が連携した効率的なプロモーションを実施することにより、域外での知名度が増している。
7	各町単独プロモーション実施時の連携	各町が単独で行う域外プロモーションの際に、9町の観光や新幹線木古内駅開業を記載した「9町リーフレット」を配布する。	新幹線木古内駅活用推進協議会構成町		域外プロモーションの実施 「9町リーフレット」の配布	域外プロモーションの実施 「9町リーフレット」の配布	域外プロモーションの実施 「9町リーフレット」の配布	
8	開業直前プロモーションの実施	外部業者への委託により、メディア等を活用した本格的な開業直前プロモーションを実施する。	新幹線木古内駅活用推進協議会				開業直前プロモーションの実施	
<b>IV 団体観光の推進</b>								
9	団体向け企画提案書の作成	団体向け観光資源の整理を行い、エージェントに提案を行うための企画提案書を作成する。	新幹線木古内駅活用推進協議会		団体向け観光資源の整理 企画提案書の作成			○団体向けの商品を、エージェントに対し戦略的に提案する仕組みが構築されており、エリア内を巡る多くのツアー造成がなされている。
10	季節毎の重点企画決定	エージェントのツアー企画造成時期に合わせて、JR北海道との連携の下、重点的企画を決定する。	新幹線木古内駅活用推進協議会			H25秋冬向け重点企画決定 H26春夏向け重点企画決定	H26秋冬向け重点企画決定 H27春夏向け重点企画決定	
11	エージェントへの営業活動	9及び10でリストアップした素材を用いて、エージェントに対して定期的に営業活動を行う。	新幹線木古内駅活用推進協議会			H25秋冬向け営業 H26春夏向け営業	H26秋冬向け営業 H27春夏向け営業	
12	モニターツアーの実施	エージェントに当地を利用した商品開発の「お試し」をしていただくため、モニターツアーを実施する。	新幹線木古内駅活用推進協議会		モニターツアーの実施	モニターツアーの実施	モニターツアーの実施	
<b>V 個人観光の推進</b>								
13	利便性の高いホームページの作成・更新	木古内町「はやぶさ03」が中心となって、簡潔で肉声感のあるホームページを作成し、不断の更新を行っていく。	新幹線木古内駅活用推進協議会		情報収集	フロントページの修正 情報の拡充・更新	商業サイトとの連動 情報の拡充・更新	○魅力的で質の高い情報や、利便性の高い二次交通サービスの提供等により、個人観光客の来訪が増している。
14	クーポン付広域観光パンフ等の作成	個人観光客の域内周遊を促すため、広域及びまち歩きの種類2種類の観光パンフレットを作成する。	新幹線木古内駅活用推進協議会			クーポン付広域パンフの作成	クーポン付広域パンフの増刷 まち歩きパンフの作成	
15	質の高い宣伝冊子の作成	主に高齢、富裕者層を対象に、域内における上質な滞在型観光スタイルを提案するための宣伝冊子を作成する。	新幹線木古内駅活用推進協議会		企画検討	宣伝冊子の作成・配布	宣伝冊子の配布	
16	二次交通の充実	新幹線と連動した、バスによる木古内・松前・江差間のトライアングル観光輸送方策を検討する。	新幹線木古内駅活用推進協議会		部会設置 検討会の実施	検討会の実施	多客期運行実験	
17	レンタカー観光の充実	利便性が高く、環境に配慮したレンタカー観光の展開について、事業者等と協議を行う。	木古内町	レンタカー事業者	事業者と協議	事業者と協議	事業者と協議	

アクション	説明	実施主体		実施計画（H25～26は現時点でのイメージ（今後変更あり））			目指す姿	
		主たる実施機関	連携機関	H24	H25	H26		
Ⅵ 新たな観光資源の発掘・磨き上げ								
18	歴史・語り部観光の魅力向上	当エリアの特色である歴史資源等をわかりやすく、魅力的に観光客に発信する方策を検討する。	新幹線木古内駅活用推進協議会			検討会・試験事業の実施	未定	○エリア内の歴史資源が観光客にわかりやすく魅力的に情報発信されている。
19	冬の魅力向上	冬期間における食や体験等の魅力向上を行い、新たな観光需要の掘り起こしにつなげる。	新幹線木古内駅活用推進協議会			検討会・試験事業の実施	未定	○9町が連携した冬のメニュー提供により地域に新たな魅力が生まれている。
Ⅶ 木古内町観光交流センターの建設								
20	木古内町観光交流センターの建設	木古内駅前に9町広域観光の拠点施設を建設する。	木古内町		運営方法等の検討 基本設計	実施設計	本体工事	○木古内町観光交流センターが9町観光の魅力をコンパクトに詰め込んだ「ショーウィンドー」として機能している。
21	木古内町観光交流センターにおける案内機能の充実	木古内町観光交流センターにおいて、9町の観光案内を行う。	木古内町	新幹線木古内駅活用推進協議会構成町	案内機能の検討 情報収集・ネットワークづくり	案内機能の検討 情報収集・ネットワークづくり	案内機能の完成	
22	木古内町観光交流センターにおける物販機能の充実	木古内町観光交流センターにおいて、9町の物産販売を行う。	木古内町	新幹線木古内駅活用推進協議会構成町	物販運営方法の検討	運営主体及び販売方法の検討	運営主体の設立	
Ⅷ その他								
23	全道的組織に対するPR	全道的組織（行政、経済・観光団体、マスコミ等）の関係者に対して、新幹線木古内駅の開業や協議会の活動内容をPRする。	新幹線木古内駅活用推進協議会			札幌プロモーションの実施 関係者へのPRツール配布		○全道的組織の関係者の中で、新幹線木古内駅と当地域の広域観光の活動が認知されている。
24	函館市・北斗市との連携強化	道南最大の観光地である函館市、新幹線駅ができる北斗市との連携を強化し、9町への来客誘導に対する協力を求める。	新幹線木古内駅活用推進協議会		情報交換実施	情報交換実施 函館市内等での情報提供依頼	情報交換実施 函館市内等での情報提供依頼	○当地域が「函館プラスワン」の魅力あるエリアとして観光客に認知され、函館と一体となった回遊が増えている
25	並行在来線の観光列車運行に向けた可能性の検討	函館市から当エリアへの観光客回遊を促すため、五稜郭～木古内間の並行在来線に観光列車を運行することの可能性について検討する。	木古内町		可能性検討	可能性検討		